

セーリング

# 高屋敷、伊藤組12位 成年女子ス ピリッツ級

## 少年女子 420級 宮古商高ペア13位



【和歌山市で運動部・菊池瞳】第70回国民体育大会「2015紀の国わかやま国体」は13日、和歌山市で運動部・

歌山市の和歌山セーリングセンターなどで、会期前競技のセーリング、競泳、飛び込み、体操を行い、県勢はセーリングの野元気（盛岡一高3年）と少年男子B100級平泳ぎの島野悠平（盛岡・大宮中3年）がともに決勝進出を逃した。

会期前競技は同日で終了。本大会は26日に総合手10

### セーリング

開会式を行いスタートする。バスケットボールは22日から実施される。

【競技本部訂正】和歌山国体のセーリング競技本部は13日、少年男子レーザージャイアル級最終成績（12日）で、岩手の得点「151点」を「152点」に訂正すると発表した。

## 県勢 風つかめず

▼成年女子「苦手が出た」 成年女子セーリングスピリッツ級の高屋敷七恵（コナリ）、伊藤詩子（セントラルウェルネスクラブ南小泉）組は9位で迎えた最終第6レースで24位。最終成績は12位で高屋敷は「苦手なところが出た」と残念がった。

▼少年女子、不完全燃焼 少年女子420級13位の佐々木香波（宮古商高2年）、木村若菜（同3年）組は「風で思うように走れなかった」と唇をかんだ。

レース2日目の11日を終えて7位と好位置につけた。しかし12日の第5レース、苦手な強風に苦戦し、さらにゴールの際に接触があり失格。巻き返しを狙った第6レースは「風のあるところがないところの差が大きく、うまくコースを取れなかった」と伊藤。逆転での入賞はならなかった。

強くなったり弱くなったり。気まぐれな風の中、バランスを一定に保ち、風のあるところを探するなど臨機応変に対応した。しかし納得のレースはできず木村は「自分にとって引退レース。いい成績を残せたらと思ったが…」とつぶやいた。

成年女子セーリングスピリッツ級12位の高屋敷七恵（右、コナリ）と伊藤詩子（セントラルウェルネスクラブ南小泉）と和歌山市・和歌山セーリングセンター沖



宮古高の先輩高屋敷と後輩伊藤と一緒に組んで八回目の国体。現在伊藤は仙台市に住んでおり、二人での練習時間は少ないが「なるべく続けて乗って感覚を戻す」と工夫し、豊富な経験でカバーしてきた。高屋敷は「今大会で顕著になった苦手な部分をつぶしていけば、順位は上げられる」と来年へ確かな手応えをつかんだ。

ペアを組むようになったのは今年5月。学年が異なり、お互い「最初は不安だった」と顔を見合わせて振り返る。練習、レースを重ねることにその不安は解消され、佐々木は「一緒に乗っていて楽しくなった」と笑顔。木村は「佐々木とペアを組めたおかげで、インターハイにも国体にも出場できた」と感謝を口にし、目を潤ませた。

# 岩手



少年女子420級 13位だった宮古商の佐々木香波（左）と木村若菜